

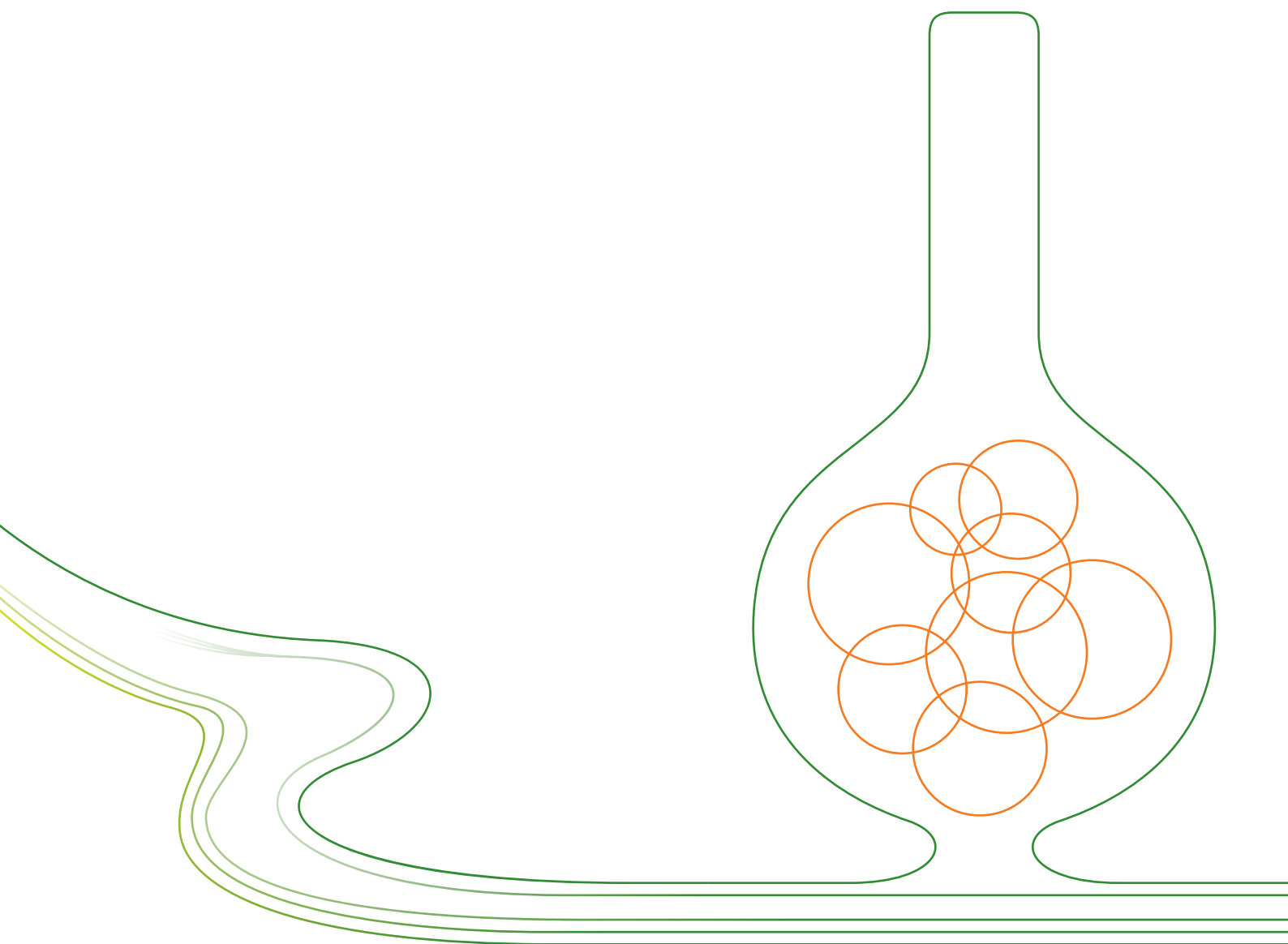


天然素材と科学の可能性

営業案内

自然と人間が共生するために。
持続可能な暮らしの向上を
科学技術で支える——

私たちは、環境対応型企業の
リーディングカンパニーです。



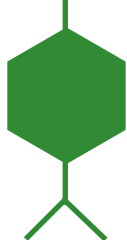
ヤスハラケミカルは、自然の恵みであるテレピン油、オレンジオイルを主原料とするテルペン化学の可能性を追求し、安全で高品質な製品を開発してまいりました。植物体内の生合成で作られるテルペンは天然に広く存在しますが、私たちが工業原料として安定的に、しかも大量に集められるものは、松の木に含まれるテレピン油とオレンジの皮に含まれるオレンジオイルです。地球温暖化防止に全世界が取り組む現在、テルペンは石油製品に比べ二酸化炭素排出量が少ない植物由来のリニューアブルマテリアル（再生可能資源）であることから、産業界各方面より大きな期待が寄せられています。将来の枯渇が心配される石油資源とは異なり、テルペンは植物が太陽の恵みをもとに繰り返し作りだすことができる貴重な資源なのです。

ヤスハラケミカルは、独自技術によりテルペン樹脂の工業用生産体制を日本ではじめて確立し、テルペン樹脂による化学製品のトップメーカーとして、粘着テープ・接着剤・香料・ポリマー改質剤など、さまざまな分野で使われる製品を開発・提供してきました。私たちの製品の独自性は、広く国内外で高い評価を得ています。

自然の恵みと科学技術を融合させる独創企業として、産業と生活の向上につながる活動領域をひろげます。

この基本理念のもと、リニューアブルかつサステナブルな社会サイクル（永続的に再生可能な社会サイクル）の中にこそ、私たちヤスハラケミカルの生産活動があると考え、持続可能な未来を見つめ歩み続けます。





信頼の轍

松根油製造から六十余年。振り向けば、数々の絆と信頼が轍のように続いています。



創業メンバー（創業者 安原弘／左から二人目）



松根割機械



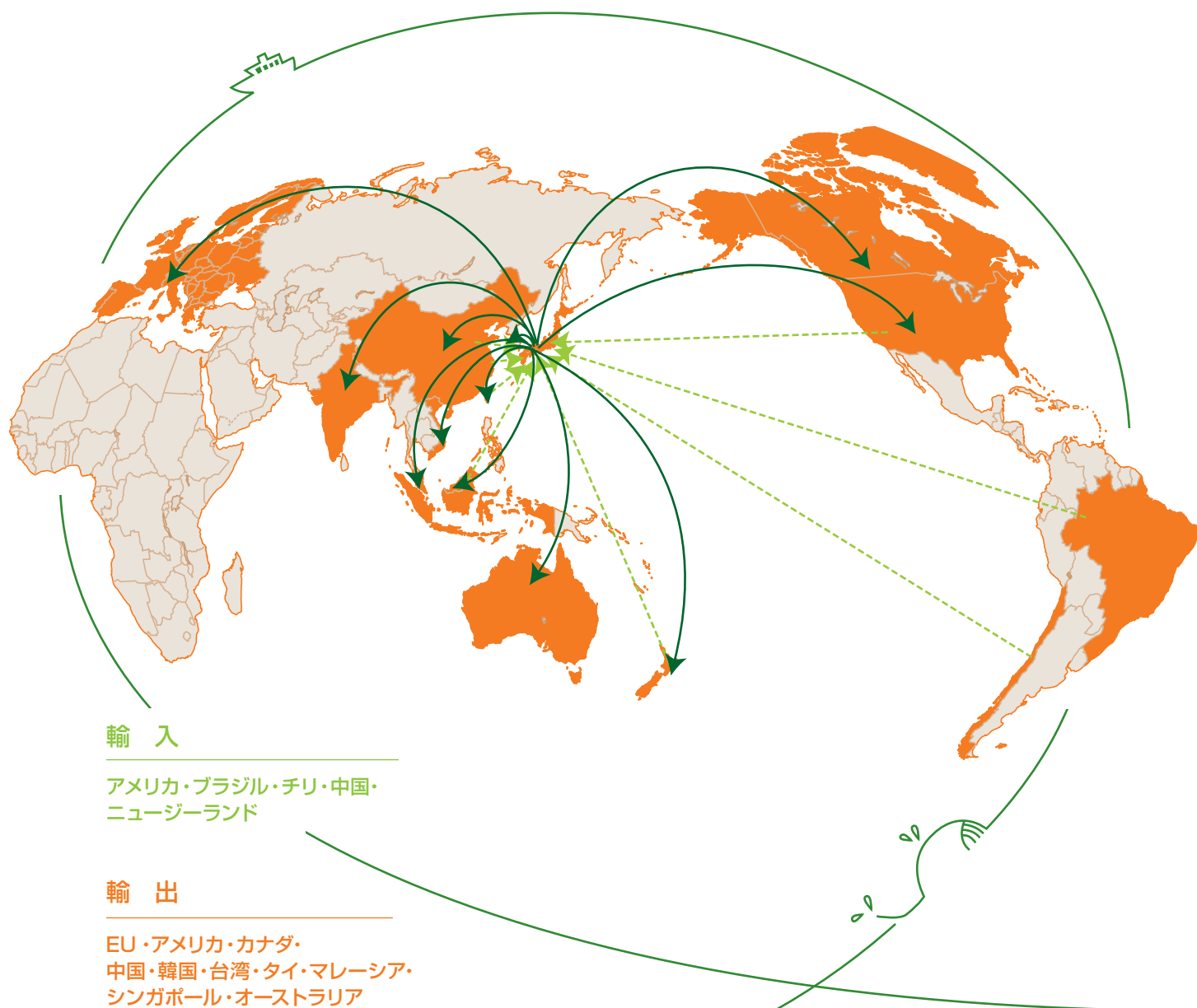
初期の高木工場

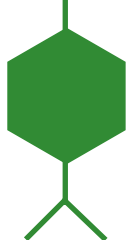
- 1946年（昭和21年） 創業者 安原 弘 松根油製造と出会う
- 1947年（昭和22年） 安原油脂工業所 創業（広島県甲奴郡甲奴町 現：三次市）
テルペン、ロジン、パイントールの生産開始
- 1949年（昭和24年） 目崎工場 新設（テレピン油精製工場）
- 1959年（昭和34年） 安原油脂工業株式会社 設立（本社 広島県府中市目崎町）
- 1960年（昭和35年） 川内工場 新設（製紙用サイズ剤工場）
- 1961年（昭和36年） 高木工場 新設（テレピン油精製工場）
- 1962年（昭和37年） 東京出張所（現：東京事務所） 開設
- 1966年（昭和41年） 目崎工場 ホットメルト接着剤「ヒロダイン」生産開始
＜関連会社 ヒロダイン工業＞ ヒロダイン工業株式会社を設立し、
安原油脂工業よりホットメルト接着剤事業を移管
- 1967年（昭和42年） 本社を広島県府中市高木町に移転
- 1969年（昭和44年） 大阪営業所 開設
- 1970年（昭和45年） 高木工場 ネオワックス（低分子量ポリエチレンワックス）の生産開始
- 1972年（昭和47年） 高木工場に研究所設置
- 1977年（昭和52年） ＜関連会社 ワイエス＞ ワイエス株式会社 設立（安原油脂工業および
ヒロダイン工業の商事部門）
- 1980年（昭和55年） ＜関連会社 ワイエス＞ ヒロダイン株式会社に社名改称
- 1981年（昭和56年） ＜関連会社 ヒロダイン工業＞ 総領工場 新設（ホットメルト接着剤製造工場）
- 1984年（昭和59年） 新居浜工場 新設（テルペン樹脂製造工場）
- 1988年（昭和63年） 川内工場を鹿児島県川内市港町に移転
- 1989年（平成元年） ヤスハラケミカル株式会社に社名改称
- 1995年（平成7年） 広島証券取引所に上場（2000年東京証券取引所と合併）
- 1996年（平成8年） 大阪証券取引所第二部に上場（2003年上場廃止）
- 1997年（平成9年） ヒロダイン工業株式会社を吸収合併
- 1999年（平成11年） 鵜飼工場 新設（ホットメルト接着剤・ラミネートフィルム製造工場）
- 2000年（平成12年） 東京証券取引所第二部に上場
- 2005年（平成17年） ヒロダイン株式会社を吸収合併
- 2007年（平成19年） 福山工場 新設（特殊モノマー製造工場）
- 2008年（平成20年） 目崎工場 閉鎖
- 2010年（平成22年） 研究所を福山工場へ新設
- 2014年（平成26年） 福山工場 技術棟・厚生棟 完成
- 2016年（平成28年） 東京事務所を東京都中央区に移転
- 2017年（平成29年） 福山工場に高木工場を統合し、高木工場を福山工場高木作業所に改称
- 2018年（平成30年） 川内工場 閉鎖
大阪事務所を大阪市淀川区宮原に移転
- 2020年（令和2年） 福山工場高木作業所 閉鎖
- 2022年（令和4年） 東京証券取引所スタンダード市場へ移行
- 2023年（令和5年） 東京事務所に大阪事務所を統合
鵜飼工場に総領工場を統合



世界でも高い信頼を築いてきました。

テレピン油やオレンジオイルをはじめとする原料は、中国・南米などから輸入。
それらを付加価値の高い製品へと加工し、国内はもとより広く世界へ送り出しています。高い技術力から生まれる製品は、海外でも高い評価を得ています。





広がる生産拠点、
つながる営業ネットワーク。

鵜飼工場

生産品目：
ホットメルト接着剤
ラミネートフィルム



福山工場

生産品目：
化成品



本 社



研 究 所



研究開発

お客様の課題やニーズに応えること。 それが、私たちの研究開発の基本です。

「お客様の目線に立った研究開発」— それが私たちの基本です。

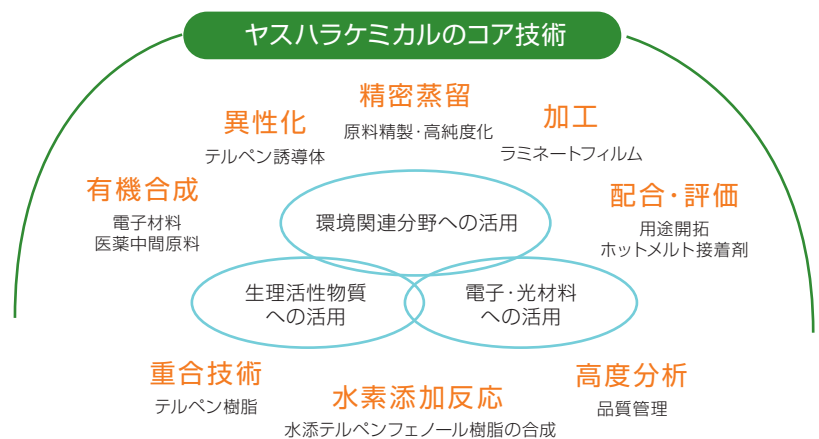
当社の研究開発は、お取引企業の製品を理解し価値観を共有することから始まります。

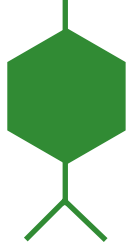
ヤスハラケミカルの研究開発のポイントは、原料の特性をうまく引き出し、付加価値を高める独創技術にあります。天然由来の原料であるテルペンには、環境に優しいリニューアブルマテリアルという基本機能があります。この基本機能を活かしながらお客様の課題に、あるいは社会的なニーズにあわせて創意工夫を重ねることで、全く新しい製品へと昇華させてきました。真に求められる付加価値の高い製品を提供する、より良いパートナーであること。それが、私たちの研究開発のめざすところであり、その実績が高い信頼を築いてまいりました。

これからも私たちはお客様とのコミュニケーションを深め、未来を見据えた新製品の開発と新たな領域での研究開発を推進していきます。

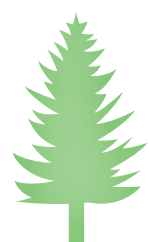


東京事務所





天然素材と科学技術の融合が
多種多様な製品を生みだしています。



松

オレンジ



テルペン

コア技術により、
各テルペン類は分離され、
原料として使用されます。

テルペン樹脂

当社の主力製品であるテルペン樹脂は、粘着付与樹脂（タッキファイヤー）と呼ばれます。

テルペン樹脂は天然ゴム、スチレン系エラストマーに代表される様々な高分子材料に配合されると可塑化作用により粘着性を引き出す働きがあり、接着剤・粘着剤の製造に欠かせないものです。

バイオマス原料であるテルペンモノマーのみを使用して生産するテルペン樹脂以外にも、石油系成分との共重合により、アクリルなどの高極性高分子材料とも幅広い相溶性を持つ、芳香族変性テルペン樹脂、テルペンフェノール樹脂も低軟化点から高軟化点まで幅広くラインアップしています。

さらに、テルペンフェノール樹脂を水素化した水添製品は、透明性、熱安定性、耐候性等に一段とすぐれ、“天然系”粘着付与樹脂として、各種接着剤成分に、あるいは各種ポリマーの改質剤として幅広い市場で高い評価を得ています。

【用途展開】

◎粘着剤、接着剤 ◎ポリマー改質剤 ◎塗料 ◎シーラント

化成品

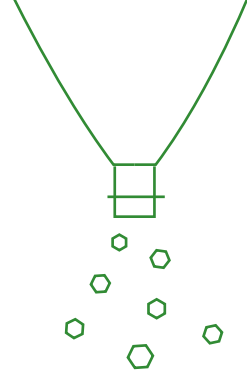
天然由来原料のテレピン油は、さまざまな合成香料の出発原料として使われています。

当社では松由来の原料からガムテレピン、 α -ピネン等の精油、また、その誘導品であるターピネオール、ミルセン等を生産し、石鹼、洗剤等のトイレットアリー商品、歯磨き、浴用剤等の香料原料として供給しています。さらに、天然由来の溶剤として石油系溶剤にない特徴を有し、IT関連分野をはじめとして広く使用されています。

また、柑橘類からの精油（オレンジオイル）の主成分であるD-リモネンは香料、芳香剤、マスキング剤の原料として使用されるほか、洗浄剤の洗浄成分としても使用されます。

【用途展開】

◎香料 ◎溶剤 ◎電子用途 ◎ペースト用ビヒクル
◎トラフィックペイント分散剤 ◎ホットメルト接着剤
◎PVC潤滑剤



ホットメルト接着剤

当社のホットメルト接着剤は食品・包装・自動車・建材等、産業上のあらゆる分野で基材同士の接着やシーラント材料として使われています。生産性の向上、脱溶剤・省エネルギー等環境問題の解決、消費者の利便性に貢献しています。

低粘度から超高粘度まで、またポリオレフィンベースから特殊エラストマーベースまで、広範囲のホットメルト接着剤が生産可能であり、お客様の多様なニーズに合致する製品を提供し、さらに接着に関する新規性のあるソリューションを提案しております。

〔用途展開〕

- ◎食品包材
- ◎ダンボール用
- ◎ショッピングバッグ
- ◎エアフィルター

ラミネートフィルム

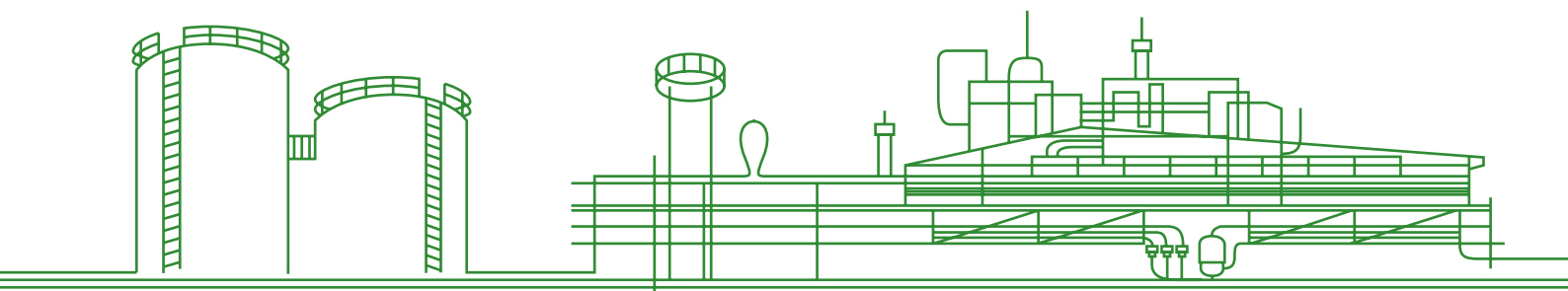
当社のラミネート製品は、出版物、各種カタログ等の表面保護、美感目的の表面光沢加工用に用いられています。

独自のホットメルト接着剤（有機溶剤不使用）を押し出し加工していることから、脱溶剤、省エネルギー、ゴミゼロ等の環境対応用途に適していますので、消費者の利便性に貢献します。

各種フィルム以外に不織布や紙等広範囲に渡り、押出加工の生産が可能であり、また、総厚 $24\mu\sim 110\mu$ と薄いフィルムから厚み（重量）のあるものまで、広範囲な厚みにも対応しておりますので、お客様の多様なニーズに合致する製品をご提供させていただきます。

〔用途展開〕

- ◎紙製品（出版物・ショッピングバッグ）



テルペン樹脂

製品群	商品名
テルペン樹脂	YSレジン PX/PXN
芳香族変性テルペン樹脂	YSレジン TO
テルペンフェノール樹脂	YSポリスター U/T/S/G/N/K/TH
液状樹脂	ダイマロン YSレジン LP
スチレン樹脂	YSレジン SX
水添テルペンフェノール樹脂	YSポリスター UH
水添スチレン樹脂	YSレジン SG/SM
乳化レジン	ナノレット TM/TH

用途展開



YSレジン TO 125



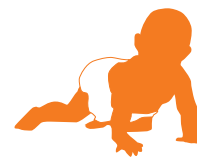
粘着テープ



ラベル用粘着剤



樹脂改質



ホットメルト接着剤

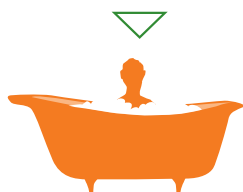
化成品

製品群	商品名
溶剤・香料原料	ガムテレピンN α -ピネン β -ピネン ミルセン D-リモネン ターピノーレン ジヒドロターピネオール ターピネオール パラメンタン
低分子量ポリエチレンワックス	ネオワックス
ペースト用ビヒクル	

用途展開



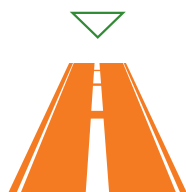
D-リモネン



柑橘系香料原料溶剤



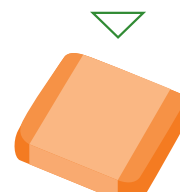
ネオワックス



トラフィックペイント



ペースト用ビヒクル

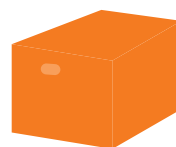


セラミックチップコンデンサ

ホットメルト接着剤

シリーズ	商品名
コーティング用 ホットメルト接着剤	ヒロダイン4000シリーズ ヒロダイン7000シリーズ
包装用ホットメルト接着剤	ヒロダイン2000シリーズ
ゴム系ホットメルト粘接着剤	ヒロダイン1000シリーズ ヒロダイン5000シリーズ
エアーフィルター用 ホットメルト接着剤	ヒロダイン2000シリーズ ヒロダイン8000シリーズ
緩衝材用ホットメルト接着剤	ヒロダイン1000シリーズ ヒロダイン8000シリーズ
スティック状ホットメルト	ヒロダイン STシリーズ

用途展開



押出ラミネート

梱包用

ラミネートフィルム

用途展開



商品名

ヒロタックシリーズ



美装関係

こんなところにも、ヤスハラケミカル。
暮らしのあちこちで使われています。





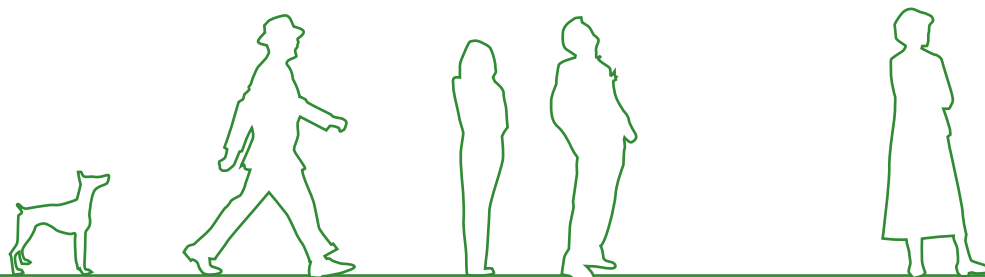
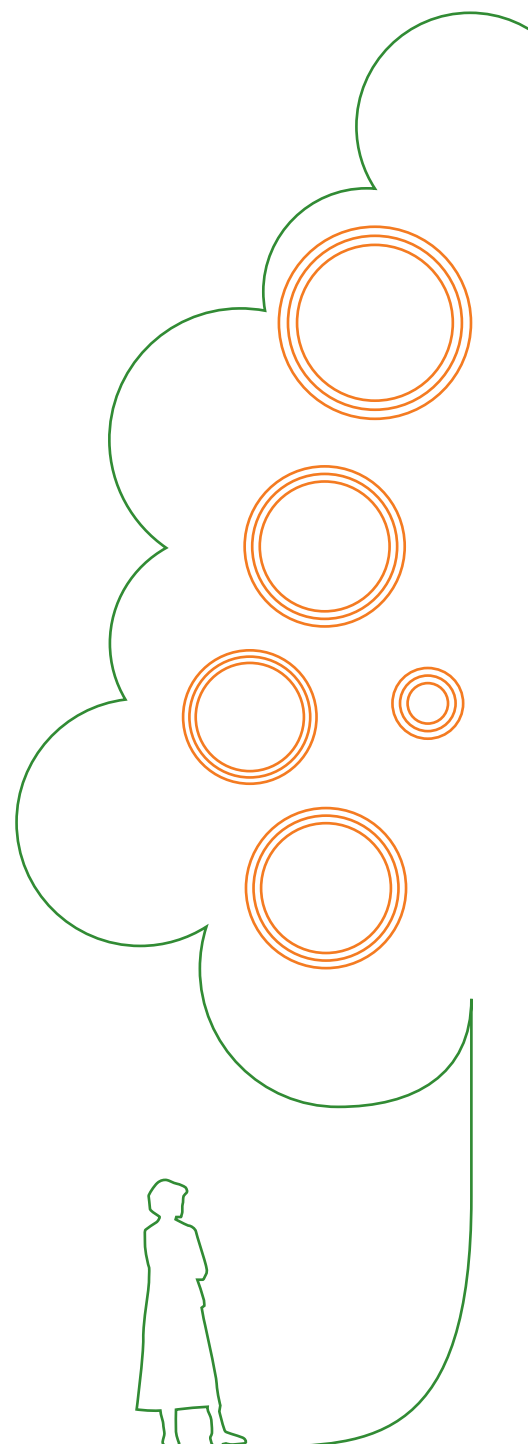
持続可能な暮らしと社会の実現に向け、 さまざまな取り組みを実践しています。

ヤスハラケミカルでは、資源調達から製造、流通、販売まであらゆる企業活動において環境への配慮を行うことで、持続可能で豊かな環境づくりに貢献していきたいと考えています。

そのため、2006年に「環境・安全に関する基本方針」を策定し、毎年12月に環境安保会議を開催。活動実績の報告ならびに次年度の環境・安全に関する重点活動目標を審議しています。重点目標はできるだけ数値目標化し、達成度を客観的に評価。また、この目標以外にも各工場で中期3ヵ年目標を設定し、継続的な環境改善活動を実施しています。

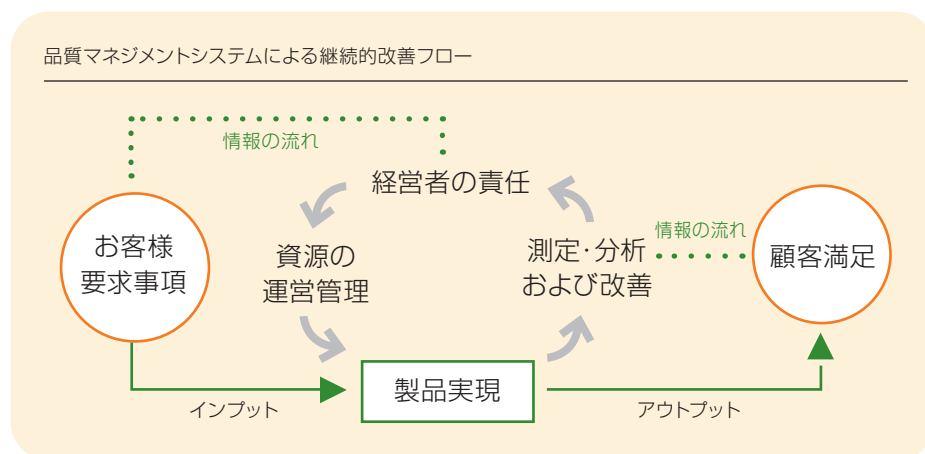
(環境・安全に関する基本方針)

1. 天然物の有効活用による安全で環境負荷低減型製品の開発により、各産業分野における地球環境保護（省資源、リサイクル、健康有害物の排除など）の推進に貢献する製品を提供することで社会に貢献します。
2. 製品の開発から廃棄に至るまでのライフサイクル全般にわたり、環境負荷の低減を図り、環境保護に努めます。
3. 無事故・無災害の操業を継続し、従業員と地域社会の安全を確保します。
4. 原料、製品の安全性を確認し、従業員、物流業者、顧客など関係する人々への健康障害を防止します。



ヤスハラケミカルの 品質マネジメントシステム [ISO9001]

当社では ISO9001 を取得し、高品質の製品とサービスを常にご提供することを第一義に、一層の信頼と満足をいただけるよう ISO9001 に基づいた品質マネジメントに取り組んでいます。



環境マネジメントシステム [ISO14001]

当社では、環境負荷の低減は事業活動の持続的発展に不可欠なものと考えています。そのために環境マネジメントシステムを活用し、省エネルギー、地球温暖化防止、産業廃棄物削減などに全社を挙げ取り組んでいます。具体的には、省エネルギー対策、CO₂排出量の削減、PRTR対象物質の排出・移動量、産業廃棄物処理委託量などを毎年、数値化し環境報告書にまとめています。

ISO 認証取得状況

鵜飼工場	…	ISO9001	ISO14001
福山工場	…	ISO9001	ISO14001
新居浜工場	…	ISO9001	ISO14001

商 号 ヤスハラケミカル株式会社
YASUHARA CHEMICAL CO.,LTD.
創 業 1947年(昭和22年)4月
会 社 設 立 1959年(昭和34年)2月24日
代 表 者 代表取締役社長 安原 禎二
資 本 金 17億8,956万円
上場証券取引所 東京証券取引所スタンダード市場
(証券コード 4957)
決 算 期 3月
従 業 員 231名(2025年3月末)
所 在 地 広島県府中市高木町1071番地
電 話 番 号 0847-45-3530 (代)
0847-44-6070 (営業直通)
F A X 番 号 0847-45-8639 (代)
0847-44-6080 (営業直通)
ホームページアドレス <https://www.yschem.co.jp/>

事務所・研究所・工場

[東京事務所]
〒104-0031
東京都中央区京橋一丁目6番1号
三井住友海上テプコビル5階
営業部
TEL／03-5159-3411 FAX／03-5159-3422
購買部
TEL／03-5159-3870 FAX／03-5159-3880

[研究所]
〒721-0956
広島県福山市箕沖町117番
(福山工場内)
TEL／084-957-5462 FAX／084-957-5463

[鵜飼工場]
〒726-0002 広島県府中市鵜飼町800番111

[福山工場]
〒721-0956 広島県福山市箕沖町117番

[新居浜工場]
〒792-0892 愛媛県新居浜市黒島一丁目7番7号

リニューアブルマテリアルを 価値ある形でお届けします

当社は創業以来、化石燃料ではなく、天然由来のテルペンを原材料に安全で高品質な製品を供給してまいりました。

化石燃料は早晩枯渇するのみならず、深刻な環境破壊も問題になっています。いまや廉価品を大量供給する時代ではありません。人類は地球規模で、化石燃料をベースとした社会のあり方そのものを考え直し始めています。その中で、リニューアブルマテリアル（再生可能資源）として「テルペン」は注目を集めつつあります。

次代に求められているのは、リニューアブルマテリアルを使用した

サステナブル（永続的）な生産活動であり、それは私たちヤスハラケミカルが永年、追求してきたものです。

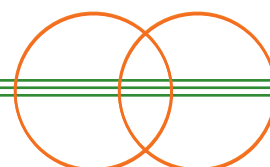
私たちは「共に手をたずさえる」ことも大切にまいりました。お客様の製品を理解し、価値観を共有したうえで、真に求められる製品、より優れた製品を研究開発して提供することで、信頼を築いてこられたと自負しております。こうしてお客様とのお付き合いの中で誕生した付加価値の高い製品は、世界的な評価を得ています。

社会のパラダイムシフト（発想の転換）が待望される今こそ、皆様と共に高い志をもって、持続可能で豊かな未来の実現に向け、共に邁進してまいりたいと存じます。



代表取締役社長

安原 稔 二





ヤスハラケミカル株式会社